



観察データを用いた統計的因果推論のための3ステップ: 回帰分析を例に
Three steps for causal inference from observational data and application of
regression analysis

以下のとおり公開研究会を開催いたしますので、ご案内いたします。

■日時: 2019年12月14日(土) 14:00~17:00

■場所: 広島大学東京オフィス 2階ラウンジ(2階情報発信センター)

■講演者: 芝 孝一郎氏(ハーバード大学)

■プログラム:

14:00-14:10 研究会主催者挨拶 村澤昌崇(広島大学高等教育研究開発センター)

14:10-16:00 観察データを用いた統計的因果推論のための3ステップ: 回帰分析を例に
芝 孝一郎 先生(ハーバード大学PhD in Population Sciencesプログラム)

16:00-16:10 休憩

16:10-17:00 質疑応答

■概要:

本研究会は、高等教育研究における方法論の卓越性を進めるプロジェクトの一環として企画されました。今回は、芝孝一郎先生(ハーバード大学PhD in Population Sciencesプログラム在籍)をお招きし、計量分析のノウハウ・因果推論についてお話をさせていただきます。

因果推論といえば、現在EBPMの流れもあり、ホットなトピックになりつつあります。しかし、ほとんどの研究者が因果推論を適切に理解できていない状況ではないかと思えます(内省も込めて)。加えて、因果推論といえば、傾向スコアやDID分析、操作変数法などの小難しい話になりがちです。今回は、私たちが統計学の講義でまず初めに学んできた回帰分析を例に、因果推論のための3ステップ(因果効果の定義、それをデータから求めるための条件、そして実際に効果の大きさを計算するための分析方法)を初心者レベルに合わせてお話いただきます。

ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

■その他

- ・参加費は無料です。(定員10名)
- ・研究会は日本語で行われます。
- ・当日はホームページ掲載用等に写真の撮影を行う予定ですので、ご承知おきください。

■申込みはセンターHPよりお願いいたします。

<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/2019/11/2019-12-14-openseminar/>

